

シリーズ・21世紀の暮らしと環境

—COP10 (生物多様性条約締約国会議) を迎えて—

■2010年10月に、名古屋で生物多様性条約のCOP10(Conference of the Parties)が開催されます。あわせて、遺伝子組換えに関するカルタヘナ法のMOP5(meeting of the Parties)も開催されます。■モントリオールで行われていた準備会合は、先進国と途上国との意見の隔たりが大きく、不調に終わっています。植物や動物、細菌などの遺伝子資源が、まだ豊富に残されている途上国側はその権利を主張したいですし、その資源を有効利用して経済的利益を得たい先進国との利害対立と言えます。地球温暖化をめぐる二酸化炭素排出の議論と似通った構造を持っています。■生物多様性といっても、ブラジルやアフリカなどの地球全体の話だけではなく、日本人にとって身近なマグロ問題、農業や里山、森林、鉱物資源の採掘など、生態系ピラミッドの頂点に立つ、人間の生産活動全般と密接なつながりを持っています。

① 「21世紀の暮らしと環境」

9月22日(水) 午前10時30分~12時

神戸大学名誉教授 保田 茂さん

私たちの豊かな生活は、日本のみならず諸外国の生物多様性に支えられています。日本においては、森の荒廃、水田の減少がもたらす自然の危機に見直しが迫られています。また諸外国においては、途上国に対する生物資源の侵略行為をなくし、先住民の伝統的な生活様式を尊重し、利益の厚生な配分が求められています。21世紀の私達の暮らしはどうあるべきなのかを考えていきます。

② 「暮らしの中の生物多様性」

10月27日(水) 午前10時30分~12時

いのちをつなぐ食育の会・代表 戸田耿介さん

「いのちをつなぐ食育の会」では、私達が住んでいる地域に身近にある食材を見つけ、それを食べ物に調理することによって郷土料理を知り、食文化を伝えていくという活動をされています。生物多様性について、毎日の食事の中から想いを馳せてみませんか。

③ 「動物のウンチいろいろ—食べ物かむすぶ生態系—」

11月24日(水) 午前10時30分~12時

動物教材研究所 pocket 主宰 松本朱実さん

私たち人を含め動物は、生きるために他の生物を食べる。食べると必ず「ウンチ」をする。「ウンチ」をみれば健康状態が一目瞭然。たかが「ウンチ」されど「ウンチ」である。「ウンチ」から生物相互の関係性や、生態系の循環を学び、環境問題を考えたいと思います。どんな話が(ウンチ)が飛び出すか?多くの方々の参加をお待ちしています

④ 「環境教育と絵本」

12月22日(水) 午前10時30分~12時

フリーランス・環境教育コーディネーター 南家聡一郎さん

南家さんは幼い頃から戸外での楽しさの中で過ごされ、今では神戸市灘区で地域活動支援コーディネーターとして区の委託を受け、講演やイベントで環境教育を展開されています。この度「かみなりさまのおくりもの」という絵本を出版されました。自然の大切さと魅力をお話していただきます。



●会場：神戸学生青年センターホール TEL 078-851-2760

(阪急六甲下車徒歩3分、JR六甲道下車徒歩10分)

●参加費：600円※託児(無料)があります。必要な方は前々日までに予約してください。

●主催：神戸学生青年センター TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878

〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1 ホームページ <http://ksyc.jp/> e-mail info@ksyc.jp